

このたびは、お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

製品到着後、速やかに検品をお願いいたします。本体に傷や付属品等の不備がございましたら、製品到着後10日以内にご連絡ください。

施工は必ずこの説明書に従い、専門業者が正しく施工を行なってください。

お使いになる方やその他の方への危害、損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

お守りいただく内容をマークで区分し、説明しています。マークの意味は次の通りです。



禁止の行為であることを告げるものです。



行為を強制・指示する内容があることを告げるものです。

⚠ 警告

死亡または重傷を負うおそれのある内容です。

- 仕様変更・改造は絶対にしないでください。



ケガの発生や事故のおそれがあります。
(変更、改造、分解された場合は製品の保証を致しかねます。)

分解禁止

- 製品の施工は、施工説明書に従い確実に行ってください。



製品・部品の落下などによるケガのおそれがあります。

⚠ 施工上のご注意

重傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容です。

- 基礎工事に関して当社規定以上の寸法にて工事を行ってください。



現場の地盤の状況によって(軟弱地盤等)は、コンクリートの基礎寸法(埋込深さ・幅)を十分考慮し行ってください。

- 通行の妨げとなる場所、危険な高さおよび極端に高い所や低い所、製品の本体下部・扉や蓋に頭が当たるような場所や高さには設置しないで下さい。扉や蓋のある部材を設置する場合には取出しスペースを十分にとってください。



ケガの発生や事故のおそれがあります。



扉や蓋の開閉操作が十分に行える場所に設置してください。
ケガの発生や事故および落下するおそれがあります。

- 工事には保護用手袋を着用して作業して下さい。

- 固いものを当てたり、強い衝撃を与えないで下さい。



故障の原因になります。
また、表面にキズをつけますと腐食の原因になります。

- 製品にぶらさがらないでください。



ケガの発生や事故のおそれがあります。

- モルタル急結剤、海砂は使用しないでください。



ステンレス、アルミ、スチールの腐食促進作用があります。

- 施工時の汚れ落としは、中性洗剤をご使用ください。



シンナー、塩酸などを使用すると、腐食の原因となります。

- 内装・外装工事がある場合には、製品の養生をおこなってください。



リシンなどの塗料がかかると、塗装がはがれたり、変色の原因となります。

- 製品に付着したモルタルやコンクリートなどは速やかに清掃して下さい。



塗装はがれたり、腐食の原因になります。

- 端部や角で手を強く擦ると、思わぬケガをする場合がございますのでご注意下さい。

施工後の確認

- 各部のネジのゆるみがないか確認してください。
- 不具合、ガタツキ等がないか確認してください。

設置方法・寸法図

- 1 照明など電気配線が必要な場合は、別紙のビス有効範囲説明図の規定に基づき配線穴を開け、電線保護管(FP管)・VFFコードを通して下さい。

※電線保護管(FP管)は付属しておりません。お客様ご用意になります。設置環境に応じて適切な電線保護管をご使用ください。

- 2 付属の振れ止め棒を門柱本体下部に取り付けてください。

- 3 下図を参考に埋め込み穴を掘り、その中に栗石を50mm以上敷き、水平器で本体の水平・垂直を確認後、本体を設置し、コンクリートを流し込んでください。



- ・基礎寸法は地盤の状況を考慮し十分ご検討ください。
- ・門柱本体は基礎コンクリートに50mm以上埋込むようにして下さい。

- 4 コンクリート養生後、門柱に設置する部材(表札・ポスト・インターフォン子機・照明器具等)を取付けます。取付け位置は別紙のビス有効範囲説明図を確認下さい。

照明、インターフォン等の電気配線が必要な部材は、電線の結線および接続を行ってください。

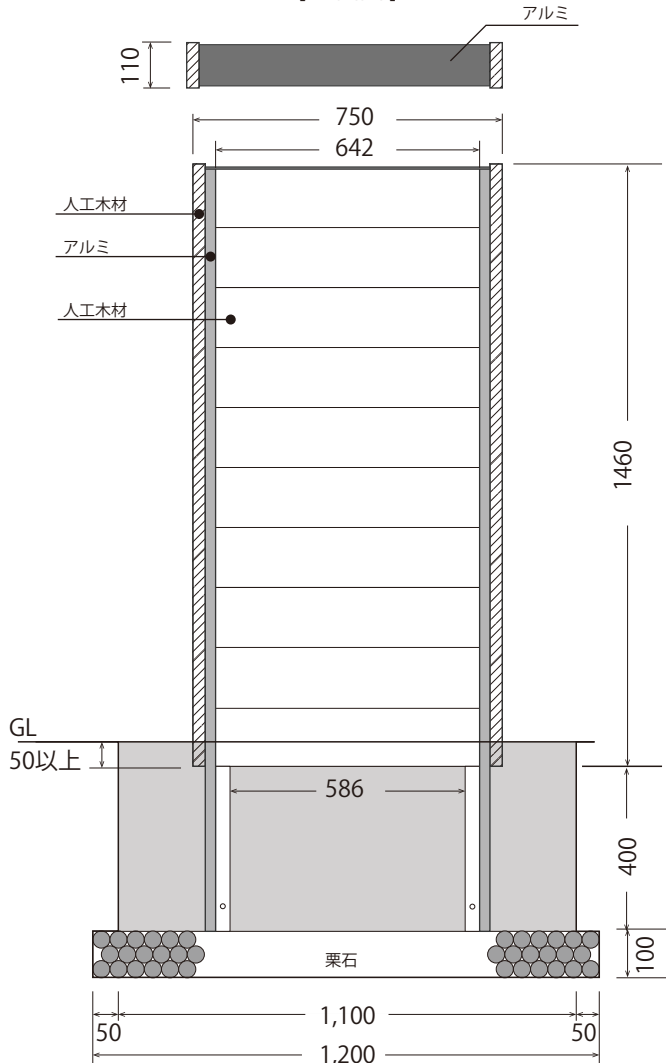
※電線保護管(FP管)は付属しておりません。お客様ご用意になります。設置環境に応じて適切なFP管をご使用ください。



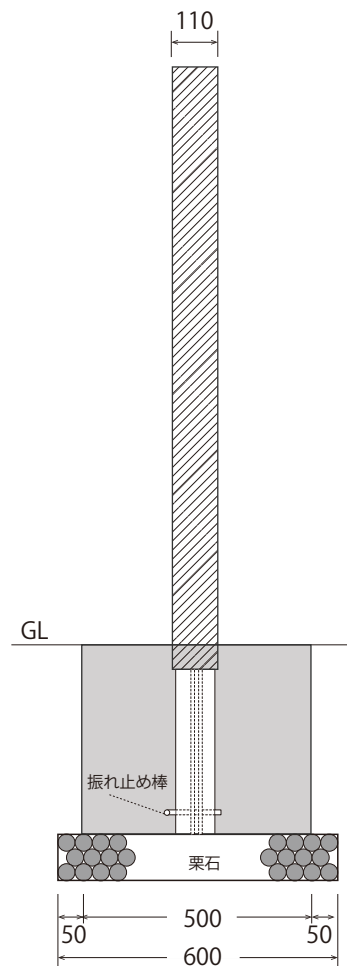
- ・躯体へビスを打ち込む場合、ビスが効く範囲を下図(ビス有効範囲説明図)にて確認し作業して下さい。
- ・結線等の作業には資格が必要です。必ず電気工事士の有資格者が作業を行ってください。



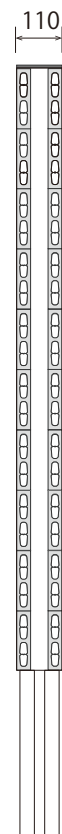
[正面図]



[側面図]



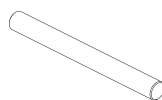
[断面図]



付属品



VFFコード 1700mm



振れ止め棒 2本

ビス有効範囲説明図

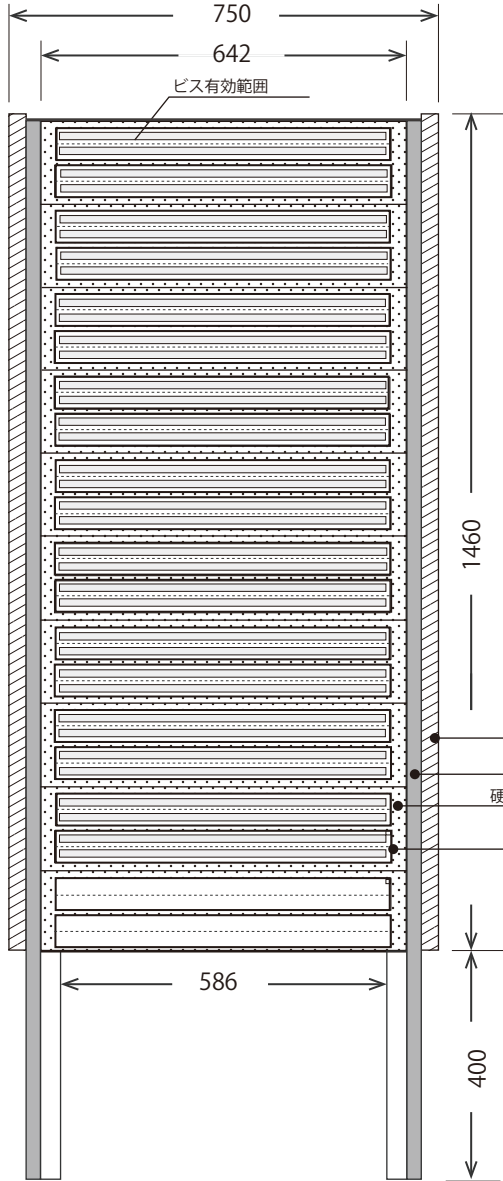
断面図

■ ビス有効範囲

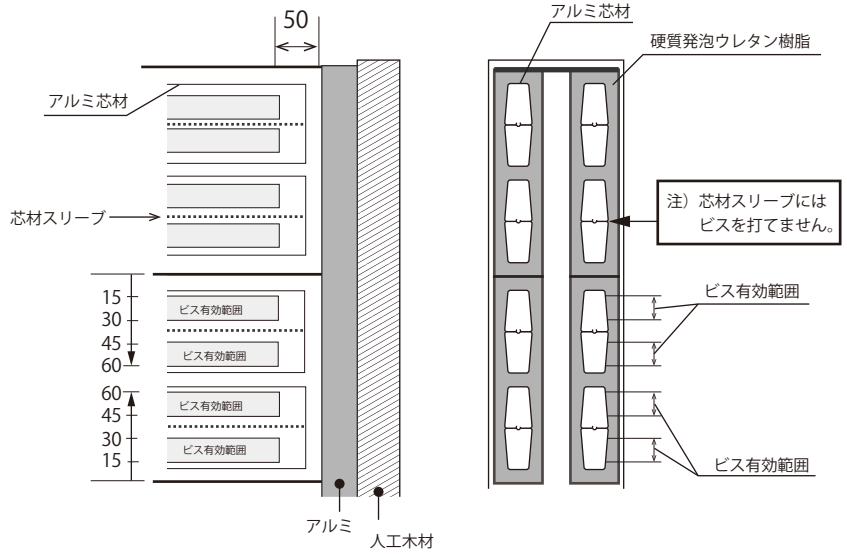


本製品に使用している人工木材の構造は、内部：アルミ材、外部：硬質発泡ウレタン樹脂となっています。ビスを硬質発泡ウレタン樹脂へ打ち込んだ場合、ビスが止まらず、ビスが抜けてしまう可能性があります。下図を参考に内部のアルミ芯材のある箇所をしっかりビスを打ち込んで下さい。

別紙も図面も
ご確認下さい。



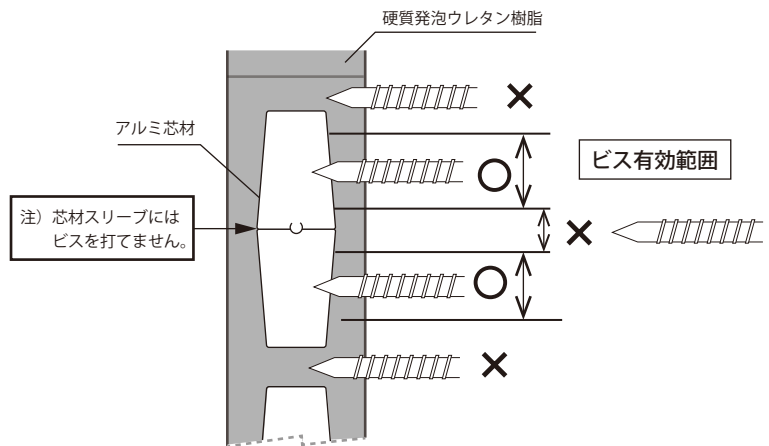
人工木材は、硬質発泡ウレタン樹脂でできているため、1枚ごとに微妙にサイズが異なります。そのため、ビス位置を決める時は、人工木材の1枚ごと端から寸法出しを行ってください。



人工木材詳細説明図



アルミ芯材にしっかり打ち込み、設置部材がしっかりと固定されているかご確認ください。

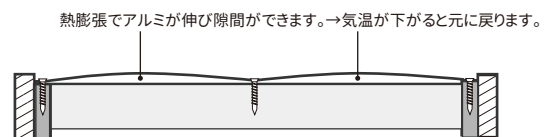


アルミの熱膨張について

アルミは、熱膨張率が高い素材です。真夏の昼間は高温になりますので、伸びてたわむ現象が生じることがあります。夕方、気温が下がると元に戻ります。この現象は、アルミの特徴でもありますので避けられません。この現象によるたわみは、商品不良ではありませんのでご了承ください。



通常の状態



※図は分かりやすくするために、実際より誇張しております。

